

# ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第11号 2005年10月発行

## むかしの石神谷津

会長 加藤 賢三

十年ひと昔ということで、むかしの石神谷津の風景を思い出してみたい。今から十数年前のふるさと祭り、新川遊歩道を城橋から宮内橋あたりを歩いているとき、ホタルの舞いが見られた。これがきっかけで、八千代ホタルフォーラムは市内のホタルの生息状況、ホタルマップの作成を始めた。広い八千代市の中でも、当時最大の生息地が石神谷津だった。全盛期は1000匹を超えるヘイケボタルが生息していたようである。

吉橋工業団地に近い側に石神川が流れ、両側の斜面林には生まれ中央に細長い谷津田が、およそ2キロメートルにわたり続いている。

平成5年12月12日には、ケビン・ショート氏を招いて二回ほど自然観察会で歩いた時は、樹木として、シラカシ、コナラ、

クヌギ、イヌシデ、クマシデ、コブシ、エノキ、ハリギリ、フジ、ゴンズイ、タモ、ヒバ、カヤノキ、ヌルデ、ニワトコ、ウツギ、キヅタ、スタジイ、サワフタギ、ケヤキなどが見られた。この石神谷津の雑木林は広さはないものの、樹木の種類が豊富。クヌギやコナラなどの北方系落葉樹が、シラカシ、アカガシ、シイなどの南方系の常緑樹と混ざり合っ、豊かな森を作っている、との評価をうけている。このような、良好な谷津なので、ホタルやアカガエルの産卵地として、そして、野草、野鳥、ミドリシジミをはじめとした昆虫も豊富な石神谷津だった。緑が丘駅から徒歩10分で入り口にたどりつく場所、身近な自然の宝庫、学びの場として活用させていただいた。そうそう、今でもここで、毎年の「八千代のホタルを探す会」が続いているが・・・。

## 開発が始まった石神谷津

広報部会部長 森 繁

9月上旬、石神谷津を歩きました。開発が予定されていた谷津ですが、斜面林が削られて道路工事が始まっています。そして少しずつ谷津に赤土が埋め立てられていきます。予測はしていましたが、とうとう始まったかとの感を深くしました。

放置された休耕田に植物が繁茂し荒廃感が進んだせいでしょうか、訪れる人も少なくなったとみえて農道も草が茂り、自然が深まったようにも思えます。

カラスウリやムクの実やアケビも青い実を

覗かせており、コブシの赤い実やウワミズザクラの紅紫色の実が赤く熟していました。アゲハチョウ類、シジミチョウ類、トンボの仲間は種類も数も多く、普通に見られました。

多様性を誇る石神谷津の自然はまだまだ健在です。工事の車に注意しながら、秋を満喫する散歩はいかがでしょうか。

石神谷津の下流にあたる調整区域で、稲刈りをしてきた農家の人の「水田は可能な限り作り続ける。農薬なども少なくしたので、サカマキガイが増えた。(次ページへ続く)

私たちはほたるの里を応援しています！

クボタ環境サービス株式会社 公園都市開発株式会社 CAC スイミングスクール勝田台

(前ページより続く)今年ホタルが「いっぱいいたよ」という言葉が印象的で、心強く思いました。斜面林の上部にある開発予定地も歩きました。

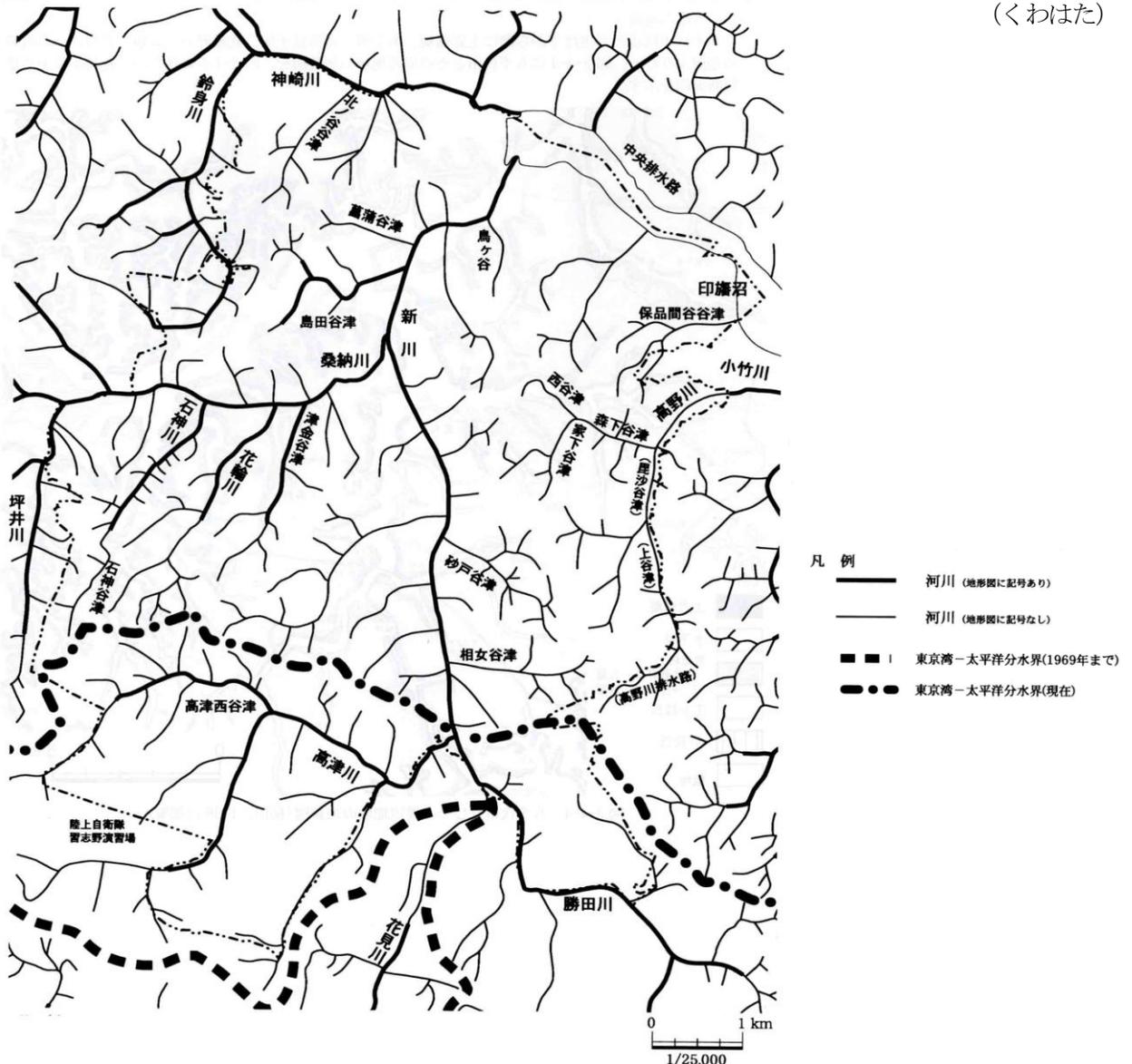
が、工事はこれからのようです。願わくば、自然湧水も豊富な石神谷津を保全し、自然を支える開発をしていただきたいと思います。

## 谷津ものがたり

がはじまります！

北総台地には、台地にいりこんだ樹枝状の谷地形があり、この谷津の低地は、谷津田と呼ばれ、水田として利用されてきました。また、隣接する林地と合わせ、多様な種の植物の育成、昆虫や小動物の生息に適した環境であり、豊かな生態系が形成されてきました。ホタルもこのような谷津田に生息し、私達に優しい光を放ってきました。しかし、休耕田・田んぼのほ場整備・宅地開発などにより、谷津田の姿が少なくなっています。八千代市内の谷津は「昔と今」でどのように変化しているのでしょうか？ホタルや多くの生き物の姿を再び見ることができるとを願い、谷津を歩いてみることにしました。

(くわはた)



## ほたるの里のあゆみ

ほたるの里づくり事業は、ホタルを通して、自然の仕組みを理解すると共に、自然を大切に  
する人の輪を広げていければという願い  
を込め、始められました。市民から寄せられ  
た様々なビオトープづくりの要望に基づい  
て、平成4年度に印旛放水路・桑納川水辺空  
間整備計画の中で、水に親しめる川づくりの  
一環として位置づけられました。

5年度からは基礎的な知識を得るための  
先進地の視察をはじめ、ホタルや餌となるカ  
ワニナの飼育に取り組みました。6年度は里  
の基礎調査、基本設計を行い、7年度から9  
年度にかけて里の環境整備工事を完成させ  
ました。10年度にはグラウンドワーク方式  
による「八千代市ほたるの里づくり実行委員  
会」を発足させました。グラウンドワーク方  
式による実行委員会は、市内でも初めての取  
り組みであります。実行委員会の地道な

活動が実を結び、11年度にはゲンジボタルの  
飛翔が初めて確認され、12年度にはホタルの  
鑑賞会「ナイトウォッチング」を開催できる  
までになりました。また、現在では小・中学  
校などでの、環境学習の場としての活用も増  
えてきています。



ほたるの里 トンボ池付近

注) グラウンドワーク方式: イギリスで生ま  
れたもので、非営利の地域活動の専門組織を  
中心に、住民、企業、自治体等地域の関係者  
がパートナーシップ(協同)を取りながら、地  
域の環境改善などを進めていく方法のこと。

### 【ほたるの里の活動年表】

平成 5年～ 9年	里の基礎調査および整備
平成 9年 1月26日	グラウンドワークによるまちづくりの講演会開催
11月 8日	エコクラブによるドングリの苗の移植とタイムカプセルの埋蔵
平成10年 7月11日	第1回ほたるの里づくり実行委員会総会
9月12日	ホタルの幼虫の放流
11月14日	生き物調べ
平成11年 5月21日～6月4日	ゲンジボタル確認
7月10日	ロゴマークの決定
平成12年 2月12日	ロゴマーク入りTシャツ等の作製発表
6月 3日	第1回ナイトウォッチング開催
平成13年 6月 9日	第1回見学会開催(多古町視察)
平成14年 3月15日	八千代市ほたるの里づくり案内冊子作成
10月26日	ホタルサミット in 八千代開催
平成15年 4月12日	会報『ほたるの里だより』創刊号発行
9月 4日	ほたるの里の掲示板完成
平成16年 3月 6日	植樹祭
7月 4日	ナイトウォッチング
10月	『ちばほたるマップ2004』完成
10月23日	第1回ほたるの里学習会開催

クズの花

## 10・11・12月のスケジュール

### 《 学 習 会 》

午前中にはほたるの里に植えられている植物を観察します。午後、ほたるの里から七百余所神社に向かい、社寺林の学習会を開催します。

日 時：10月22日（土）10時から15時  
※午前のみまたは午後のみ参加も可能。

雨天中止。

集合場所：ほたるの里

講 師：原 正利氏

（千葉県立中央博物館環境科学研究科科長）

持 ち 物：弁当、飲み物など

参 加 費：無 料

対 象：ホテルメイト若しくはメイト希望者

申し込み：当日、直接ほたるの里へ

### 《 見 学 会 》

毎年、環境保護活動の活発な団体への施設見学を企画しています。今回は、茨城県霞ヶ浦で活動しているNPO法人アサザ基金「アサザプロジェクト」を訪ねます。

日 時：11月19日（土）

午前9時から午後5時※雨天決行

集合場所：八千代市役所玄関前

午前8時45分集合

対 象：ホテルメイト若しくはメイト希望者

参 加 費：無 料

応募締め切り：11月1日（火）必着

注 意：バスの都合上40名とさせていただきますので、興味のある方はハガキでお申し込み下さい。応募多数の場合には抽選とさせていただきますので、ご了承ください。なお、結果については後日ご連絡いたします。

### 《 ザリガニ釣り大会 》

ホテルにとって、アメリカザリガニは天敵です。そのため、ほたるの里のザリガニ一斉除去を行います。

日 時：11月26日（土）10時から12時  
場 所：ほたるの里

持 ち 物：ザリガニ釣り道具、エサ、鎌など

### 写真展の案内

ほたるの里の写真や里山・谷津の写真・絵画・書・和歌・俳句などの作品の巡回展示を行います。

日時・場所

○10月6日（水）13時

～13日（水）13時

緑が丘プラザ1・2階

※開館時間

火～金：9時～19時、土・日・祝：9時～17時

○10月17日（月）13時

～21日（金）13時

ふるさとステーション

※開館時間：9時～19時

○10月25日（火）13時

～11月1日（火）13時

イトーヨーカドー八千代店2階

※開館時間：10時～23時

### ホテルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

#### 【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyout2@city.yachiyo.chiba.jp

#### 【編集】

広報部会 事務局